

トキの一般公開の状況について

令和元年7月1日からトキの一般公開を開始しました。オープンから12月9日までの状況についてご報告します。

(1) 公開概要

公開期間 令和元年7月1日(月)～12月28日(土)

公開時間 10:00～16:00(7月～9月)、10:00～15:00(10月～12月)

休館日 火曜日(7月2日開館)、11月24日(日)臨時休館

公開トキ(4羽)

ユウヒ(夕日)	106B05	左足に白赤の足環
イズモ(出雲)	178B08	右足に白の足環
ヨウヤン(友洋)	212A09	右足に青12の足環、左足に青の足環
ツバサ(翼)	497B14	右足に緑97の足環

幼鳥展示(4羽)9月11日(水)～10月30日(水)

(2) 来場者数等(12月9日まで) 計 15,830人

	開館日数	来場者		開館日数	来場者
7月	27日	3,814人	10月	26日	3,326人
8月	27日	2,033人	11月	25日	2,752人
9月	26日	3,491人	12月	8日	414人
			計	139日	15,830人

協力金・寄付金

協力金(カプセルトイ) 348,200円(1,741件)

寄付金(募金箱) 235,172円

(3) 関連イベント等

6月30日(日) トキ一般公開記念シンポジウム、記念レセプション

7月1日(月) トキ一般公開記念式典

10月10日(木) 入場1万人記念セレモニー

11月26日(火)～ 巡回写真展「大型水鳥と水辺の大自然」

このほか、FMいずも、日本海テレビ、山陰放送テレビなどで紹介されました。

#### (4) 周知方法など

##### ① 看板設置

山陰自動車道出雲 I C 出口

県道出雲インター線沿い・神門通り交通広場（しまね花の郷との共同看板）

県道多伎江南出雲線しまね花の郷入り口（NPO法人いずも朱鷺 21）

##### ② 懸垂幕及び横断幕の設置（NPO法人いずも朱鷺 21 作成）

出雲市役所、神門ケアセンター、出雲ゆうプラザ

古志コミュニティセンター、しまね花の郷

##### ③ ポスター及びパンフレットの配布

市内ホテル、コミュニティセンター、図書館、県内関係施設

西日本高速自動車道サービスエリア、市内小中学校

##### ④ 新聞広告

山陰中央新報 6月30日（シティセールス）、7月27日（県環境政策課）

##### ⑤ 広報いずも 8月号表紙、連載「となりのミコトッキー」

##### ⑥ 広報誌掲載（いずれも「しまね花の郷」との共同掲載）

モダンタイムス（関西圏広報誌）7月号

あるっく（山陰中央新法情報誌）秋号

Suki（一畑高速バス車内誌）夏号・秋号

わおまっぷ（地域情報誌）出雲市・大田市版

出雲そば旅 2019-2020 ガイドブック（観光地紹介）

##### ⑦ その他

ひろでんラッピング電車（シティセールス）

#### (5) 来場者の感想・意見(アンケートから)

- ・トキはデリケートですね。メスもいるといいなと思いました。
- ・一羽一羽大事に飼育されていることが分かった。
- ・島根でトキが見られるとは思いませんでした。見られてとても良かったです。
- ・説明してくださる方が丁寧に優しくたくさん教えて頂いて良く理解できた。
- ・やっぱり出雲の空を飛ぶトキが見たいです。
- ・広い施設でトキが飛んでいる姿を見れたらもっと良いと思いました。
- ・できるかぎり、分かりやすく、見やすくなっていると思う。トキの追っかけをしている身としてはグッズの拡充をしてもらえると嬉しい。

○関連イベント（記念シンポジウム等）

**出雲市トキ 一般公開記念シンポジウム**  
「トキの繁殖と野生復帰を進めていくために」

令和元年 6月30日 12:50~15:00  
朱鷺会館

15:00~シンポジウム終了後、特別観による公開観覧見学があります。

「学術ニッポン」もつとも日本らしさを大切にして紹介されたトキが日本各地から集まってきたのは、昭和56年7月21日。この年の6月、半島で絶滅していたトキが繁殖地を求めて日本に渡ってきた。このトキの繁殖地保護の成果、平成20年9月29日、保護で繁殖が行われ、27年ぶりに日本の自然にトキが再び生まれた。

それから12年。今、在野の野生下には3000羽を超え、80%が繁殖しています。7月1日から、出雲市で6~14歳の一般公開が始まります。これを記念して、トキの繁殖・野生復帰に尽力された方々や団体の方を招き、これまでの取り組み・これからの方向性についてお話しさせていただきます。

小宮 隆之 氏  
鳥獣保護課長、出雲市自然環境課長

特別講演者  
佐藤 肇 氏  
鳥獣保護課長、出雲市自然環境課長

7月1日 12:50~15:00  
7月2日 10:00~12:00  
7月3日 10:00~12:00  
7月4日 10:00~12:00  
7月5日 10:00~12:00

出雲市トキ分館開館センター TEL: 0853-20-1800 Mail: tokibank@city.yamaguchi.jp

トキのまち出雲  
7月1日から トキ 一般公開!

学名(Nipponia nippon(ニッポンアニッポン))、19世紀にはもっとも日本らしい鳥としてヨーロッパには紹介されたトキが日本の自然を守りつづけているのは昭和56年(1981)11月。しかし、この年の6月には中国の保護者(現在の漢中市)で野生のトキが発見され、やがて日中共同の保護プロジェクトが決定。日本でもトキの繁殖を進め、平成20年(2008)9月に在野で行われた放鳥により、27年ぶりに日本の自然にトキが再び生まれました。

それから10年。今、在野の野生下には3000羽を超えるトキが育ちています。

7月1日から出雲市で6歳の特別児童扶養手当のトキ一般公開が始まります。

出雲市トキ分館開館センター TEL: 0853-20-1800 Mail: tokibank@city.yamaguchi.jp



○一般周知（案内看板、懸垂幕、広電ラッピング広告等）



○トキ一般公開1万人達成記念式典

**島根 NEWS WEB**

**トキ公開施設 入場者1万人達成**

10月10日 11時59分



ことし7月から、国の特  
念物、トキの一般公開を  
る出雲市の施設で、10  
者が1万人に達し、記念  
行われました。

「出雲市トキ公開施設」  
目の入場者になったのは  
の大下誠さんです。

施設で行われた記念の式典では、大下さんらがくす玉を割って祝いました。  
そして、新潟県佐渡市で収穫された米やトキの写真パネルが、記念品として  
した。  
大下さんは、「突然でびっくりしました。トキは初めて見たので感動しまし  
ていました。  
この施設では、出雲市トキ分散飼育センターで飼育されている14羽のトキ



○新聞記事

**出雲のトキ**

**名前決まったよ 会いにきてね**

出雲市が30日、市内で飼育されている

**シンボ**

**ユウビ** (05年生まれ)

**ユウヤン** (09年生まれ)

**イズモ** (08年生まれ)

**ツバサ** (14年生まれ)

2羽のトキが、  
08年生ま  
い個体が  
生まれ出  
られたア

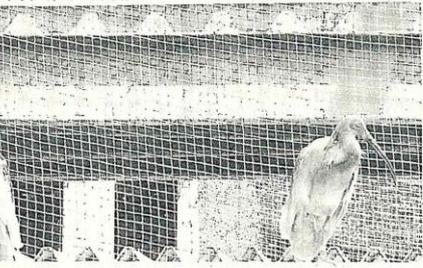
写真は出雲市提供

スモ」(11歳 「ユウヤ  
の公開施設で始まった。 トキの一般公開は全国 ン」(10歳 「ツバサ」

飛び立つ瞬間 至近距離で  
見たいトキに来てね

（同市西新町2丁目）隣 28日まで。

トキ越しに公開されたトキ＝出雲市西新町  
目、市トキ分散飼育センター公開施設



**トキ幼鳥すくすく**

**分散飼育センターが公開**

4、5月に生まれた国の  
特別天然記念物トキの幼鳥  
4羽が、出雲市トキ分散  
育センター、出雲市トキ分  
育センター、出雲市西新町  
2丁目、隣の公開施設で公  
開されている。雌が赤い成  
鳥と違い、薄いオレンジ色  
鳥と違い、薄いオレンジ色

のが特徴で、10月下旬  
で顔を近づけ、午後4時  
以降は午前10時～午後3  
時、問い合わせは市トキ分  
散飼育センター、電話08  
533-20100。

（新藤正香  
体積が1.4～1.9リットル

**週刊さんいん学間** 第247号 7月24日 (毎週水曜発)

**今、会いに行けるトキ**

国の特選天然記念物に指定されて  
いるトキの一般公開が、出雲市西新  
町2丁目のトキ分散飼育センターに  
ある公開施設で始まりました。市が  
飼っている雄4羽を、目の前で観察  
することができます。夏休みぜひ  
会いに行ってみませんか。  
トキはかつて島根県の上空を飛ん  
でいましたが、乱獲したために数が  
減り、国産の鳥は新潟県の佐渡島で

ぼくたちが待つ  
出雲 八丁飼育センター

写真4枚はいずれも出雲市提供

れた初日は、双眼鏡  
ぞいたり、写真撮影  
りする人がいたほか、  
の下側のトキ色と呼  
る桃色の羽を見よう

